

支え合い活動の活性化に向けて ～生活支援体制整備事業とは～

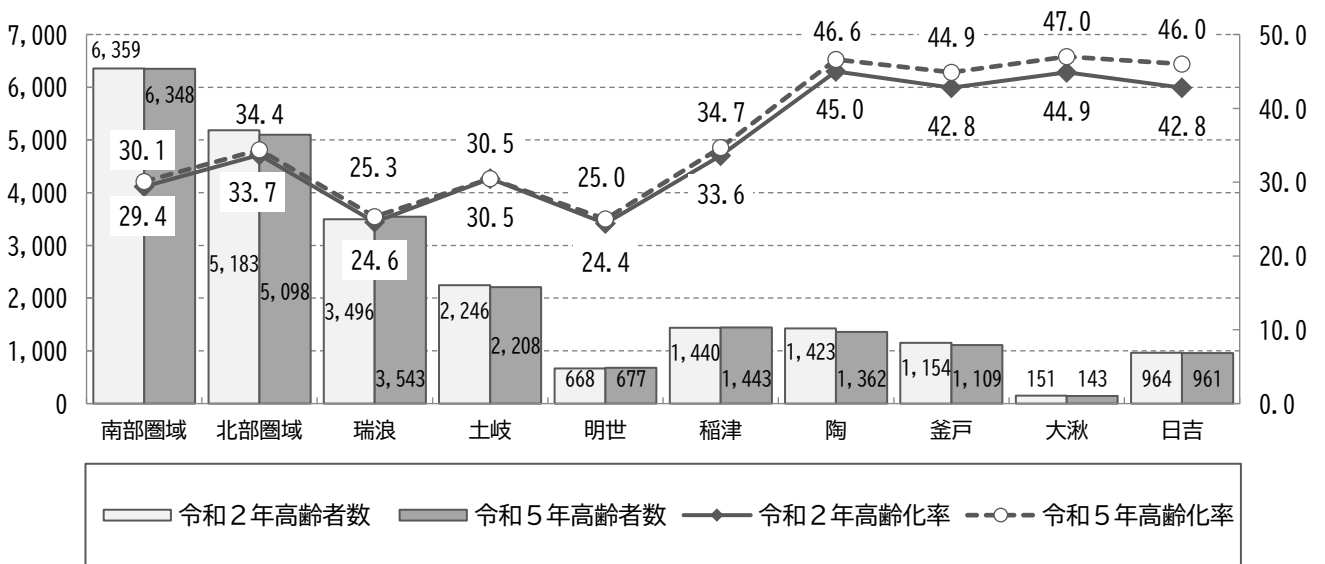
1. 高齢化の現状

【高齢化率】

全 国 29.1%(令和5年9月15日現在推計) ⇒ 令和18年 3人に1人が高齢者
 瑞浪市 32.1%(令和6年2月1日現在) ⇒ 令和9年度 3人に1人が高齢者

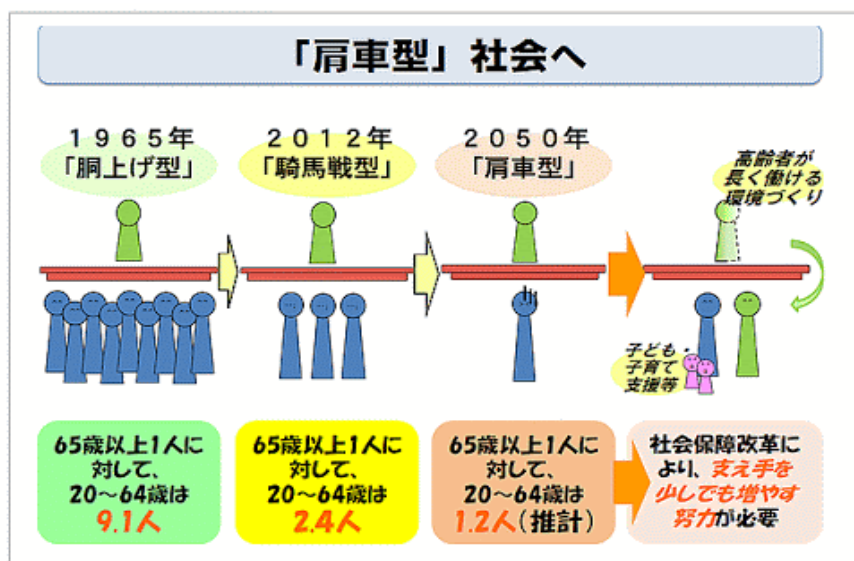
高齢者数が増加することにより、医療と介護の両方を必要とする方の増加が見込まれる
高齢者の生活を支援する支え手不足が深刻な問題

■瑞浪市の高齢化率■



※資料: 瑞浪市 住民基本台帳 各年4月1日現在

■支え手を必要とする社会的背景■



(注意)ここで言う「支え手」とは、専門知識や責任が必要な専門家ではありません。

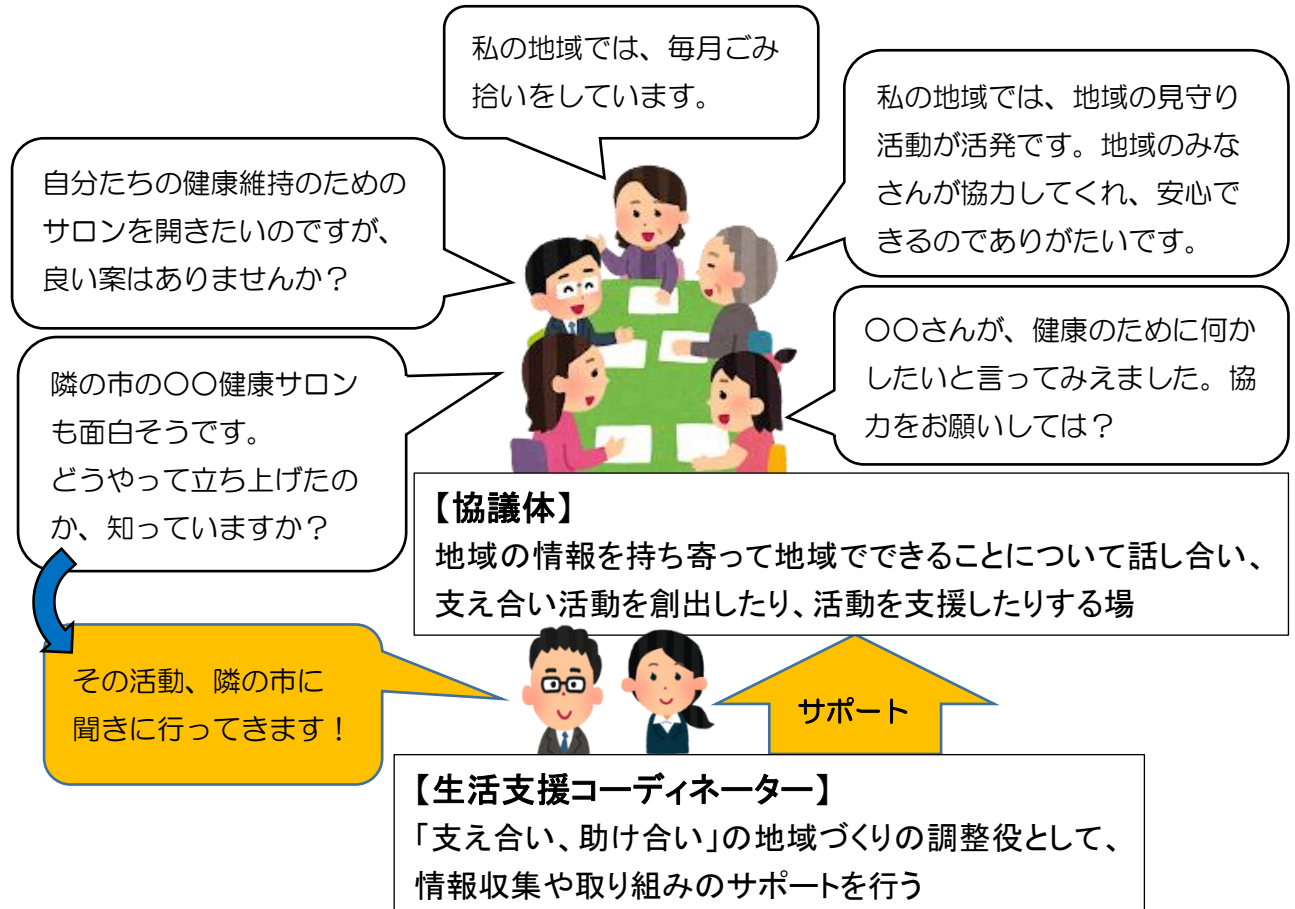
2. 生活支援体制整備事業とは

地域住民のみなさんや元気な高齢者の方に、高齢者の生活を支える支え手になってもらい、お互いに助け合うことを通じて介護が必要になる時期を先送りすること、助け合いの地域づくりを行うことを目的とした事業

住民のみなさんが主体となった

住民同士の支え合いを大切にした、助け合いの地域づくりの構築を目指します。

活動内容は高齢者支援に限らず、子どもや障害者、生活に困っている人など様々な方を対象とします。



■協議体の3つの活動

- ① 地域の情報を持ち寄り、地域を知る。
- ② 地域で「取り組みやすい課題」を見つけ、「取り組みやすい活動」を考える。
- ③ 地域からその活動の協力者を探し、働きかけを行う。

■瑞浪市の生活支援コーディネーター

担当	連絡先	担当地区
瑞浪市社会福祉協議会 岩島、足立	68-4148	稲津、陶
千寿の里 西小田 浅川	66-1030	瑞浪、明世
美濃陶生苑 片桐	63-2843	土岐、釜戸、大湫、日吉